

最大の争点は、出火元となった石油ストーブがある1階居間で寝起きしていた認知症の男性入居者。当時(89)の行動が火災の発生原因だったかどうかだ。

火災当日、唯一の夜勤者だった女性職員は「おむつ交換を終えて居間に戻ると、ストーブの天板上から炎が上がり、男性入居者がパジャマを脱いで立つていて」と公判で証言。実際にストーブ天板から繊維片が見つかることなどから、

北大大学院医学研究科の田中伸哉教授(腫瘍病理学)らの研究班が、深い筋肉の層に達した治りにくい膀胱がんの細胞を作るある酵素が、がんの転移を促すとともに抗がん剤への抵抗性を高めることを発見した。風邪に含まれる「フルフェナム酸」と抗がん剤の同時投与が治療に効果があることも確認した。田中教授は「安価なかぜ薬に思わぬ作用があった。今後、治療に定着することを期待したい」と話している。

この酵素は「アルドケト還元酵素」。研究班はヒトの膀胱がんをマウスの膀胱に移植し、肺や肝臓などに転移したモデルで実験。転移先のがん細胞だけで大量

北大大学院医学研究科の田中伸哉教授(腫瘍病理学)らの研究班が、深い筋肉の層に達した治りにくい膀胱がんの細胞を作るある酵素が、がんの転移を促すとともに抗がん剤への抵抗性を高めることを発見した。風邪に含まれる「フルフェナム酸」と抗がん剤の同時投与が治療に効果があることを確認した。田中教授は「安価なかぜ薬に思わぬ作用があった。今後、治療に定着することを期待したい」と話している。

この酵素は「アルドケト還元酵素」。研究班はヒトの膀胱がんをマウスの膀胱に移植し、肺や肝臓などに転移したモデルで実験。転移先のがん細胞だけで大量

がんを防ごう



田中伸哉教授

膀胱がん悪性化の酵素特定

北大研究班

風邪薬成分 治療に効果

量に投入すると、抗がん剤のシスプラチニンが全く効かず、酵素により抵抗性が高まることが示された。

アルドケト還元酵素の働きをフルフェナム酸が妨げることで、マウスの転移先にあるがん細胞に比べ、転移先のがん細胞でこの酵素が2~6倍多かった。

そこで、マウスの転移先

のがん細胞でこの酵素が作

れないので遺伝子を操作し

たところ、操作しないがん

細胞はほぼ100%が転移

しようと動くのに対し、操

作した細胞は40~50%しか

動かず、酵素が転移につな

がることを突きとめた。

さらに、マウスの転移先

のがん細胞にこの酵素を多

く使える可能性があるのでないか」と指摘する。

4日付の英電子科学誌「サイエンティフィック・リ

三浦力

日本将棋連盟

都市で15日に開

期

竜王戦7番

て、挑戦者の二

(42)

が出席し

離席する

こと

が

り

に

つた

花森安治

さん

の

手帖

」の紹介

が

し

た



庶民目線で雑誌づくり

暮しの手帖元編集者 小博さん

出版社「暮しの手帖社」

(東京)の元編集者小博雅

章さん(78)が12日、道新東

京懇親会で講演

論告で検察側は「被告は

過失はない」と主張した。

業務上過失致死罪は、火

災が起ることを事前に予

測できる「予見可能性」が

あつたにもかかわらず、必

要な防止策を講じなかつた

場合に有罪となる。

検察側は「被告は

過失はない」と主張した。